F★★★★
ホルムアルデヒド放散等級

１液Mシリーズの組み合わせで高いパフォーマンスを発揮！

速乾型１液弱溶剤木部用下塗塗料

カンペ1液M木部用下塗 HG

(ハイグレード)

エポキシ配合

●木目を隠して塗装仕上げする場合の下塗りに！
●破風、鼻隠し、幕板、下見板、戸袋など
住宅木部塗り替え時の下塗りに！

■カラーバリエーション

ホワイト　ブラウン

※印刷のため、実際の色と多少異なる場合があります。

KANSAI PAINT

速乾型1液弱溶剤木部用下塗塗料

カンペ1液M木部用下塗 HG

■特　長

1) 各種木材によく浸透し、付着が優れる
2) ラワン材、木毛板の目止め効果が良好
3) ターペン希釈が可能で、旧塗膜適性が広い
4) 幅広い上塗り適性がある
5) 上塗りの吸い込みが少なく、良好な仕上がりが得られる
6) 低臭気で、はけ、ローラー塗装作業性に優れている
7) 一液速乾形であり、作業効率が良好
8) 鉛・クロムフリー
9) ホルムアルデヒド放散等級:F☆☆☆☆

■塗料性状

荷　姿	16kg・4kg
色	ホワイト、ブラウン(09-40L近似)
艶	なし
使用有機溶剤種別	第2種
消防法による危険物区分	第2石油類

■適用下地・旧塗膜

適用下地：各種木材
適用旧塗膜：調合ペイント(OP)、合成樹脂調合ペイント(SOP)、ウレタン樹脂塗料等
※アレスセラマイルドグロスなどのNADアクリル形の旧塗膜に塗装しないでください。ワレる事があります。

■上塗り可能塗料

カンペ1液MレタンHG、カンペ1液MシリコンHG、セラMレタン、コスモマイルドシリコンII等
※強溶剤形塗料(専用シンナーで希釈するタイプの塗料)は塗装できません

■乾燥時間・塗装間隔

項　目	温　度	5～10℃	23℃	30℃
乾燥時間(指触)		1時間	30分	15分
研磨可能時間		16時間	6時間	5時間
塗り重ね乾燥時間(塗装間隔)	最　短	6時間	4時間	3時間
	最　長	7日	7日	7日

■塗装仕様例(木製破風等の塗替えの場合)

工　程		塗　料　名	塗装回数	標準所要量(kg/㎡/回)注1)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈剤希釈率
1	素地調整	付着劣化した旧塗膜、汚れ、付着物などを入念に除去し、全面サンドペーパーで目粗しを行い、素地を十分に乾燥させる。					
2	下　塗	カンペ1液M木部用下塗HG	1	0.13～0.20	4時間以上7日以内	ハケ ローラー	塗料用シンナーA 0～10%
3	上　塗(1回目)	カンペ1液MレタンHG注2)	1	0.13～0.16	2時間以上7日以内	ハケ ローラー	塗料用シンナーA 5～15%
4	上　塗(2回目)	カンペ1液MレタンHG注3)	1	0.13～0.16	―――	ハケ ローラー	塗料用シンナーA 5～15%

注1)所要量は、被塗物の形状や、素材・塗装方法・環境などによって、増減することがあります。
注2)上塗りにはカンペ1液MレタンHGの他、下記の上塗可能塗料も塗装できます。使用方法は各製品の説明書等に従ってください。
注3)屋外の木部は気温変化や水分の吸収放出繰り返しの影響等で早期に劣化します。こまめな塗替えを計画してください。

施工上の注意事項

①顔料沈降している場合がありますので、開缶後よくかきまぜて中味を均一にしてください。
②塗装時および塗料取り扱い時は、十分に換気を行い火気厳禁にしてください。
③素材の状況に応じて適切な下地処理を行ってください。
④5℃以下の低温、85%以上の高湿度、または換気が十分でなく結露が予想される場合は塗装を避けてください。
⑤降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
⑥塗膜が乾燥過程で水(降雨など)の作用を受けると白化することがあります。この場合は、軽くサンドペーパー等で表面を研磨して表層を除去してください。
⑦コンクリート・モルタルなどのアルカリ性素材への塗装は避けてください。
⑧節止めにはセラックニスなどを使用してください。
⑨穴埋めの必要がある場合はポリパテを使用してください。
⑩シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、ワレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、「シープラ」または「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」をバインダーとして挟むことで不具合を軽減することができます。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については安全データシート (SDS) をご参照ください。

■予　防　策
取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具 (帽子・保護めがね・マスク・手袋等) を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合 (多液品の混合・希釈等) しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■対　　応
目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類 (ウエス) 等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■保　　管
指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■廃　　棄
本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■施工後の安全
本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

FSC ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022724

関西ペイント販売株式会社　関西ペイントホームページ www.kansai.co.jp

北海道　TEL(0133)64-2424　FAX(0133)64-5757
東　北　TEL(022)287-2721　FAX(022)288-7073
北関東信越　TEL(028)637-8200　FAX(028)637-8223
東　京　TEL(03)5711-8905　FAX(03)5711-8935
中　部　TEL(052)262-0921　FAX(052)262-0981
大　阪　TEL(06)6203-5701　FAX(06)6203-5603
中　国　TEL(082)262-7101　FAX(082)264-3285
四　国　TEL(0877)24-5484　FAX(0877)24-4950
九　州　TEL(092)411-9901　FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(22年03月07刷PKO) カタログNo.726